

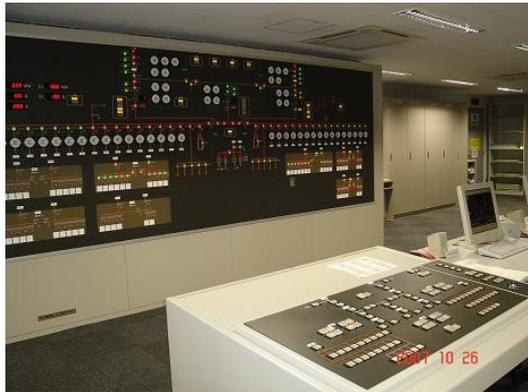


## 1年 ラボツアー 2日目 研修③ 京都大学 桂キャンパス

ラボツアー2日目の10月26日の午前中は、桂キャンパスを訪問しました。桂キャンパスは2003年10月にオープンした京都大学3番目のキャンパスで、4つのクラスターから構成されています。今回、工学部・工学研究科の施設を中心に研修が行われました。

工学部・工学研究科の概要説明を受けた後、班に分かれて4カ所を見学しました。

Cクラスター環境系研究室では、気圏・水圏・地圏・生物圏に関する様々な高度分析、下水高度処理技術の開発などの研究内容について説明していただいた後、プラント実験室などの施設を見学しました。ここでは、ゴミを燃やしたときのダイオキシンの発生をどのようにすれば防げるか等、廃棄物の研究やバイオテクノロジー、X線を用いた研究なども行われています。大嶋研究室では、プラスチックについての研究がなされており、プラスチックの中の気泡を走査型電子顕微鏡を使って見せていただきました。顕微鏡で見ると、蜂の巣のように気泡が並んでいました。その他、京都大学の全体的な管理を行っているEMセンター、化学系図書館、大型構造物の実験などを行うシュミレーションラボ、部屋全体が“吸音くさび”というガラスワールであみこまれた繊維で覆われている無響音室などの施設について説明していただきました。



### 参加生徒の感想より

「京都大学桂キャンパスはすごく広いところだった。とにかくいろいろな施設があって、その一つひとつが大きい。一番不思議だった場所は、無響音室でした。」

「無響音室では、本当に耳が変な感じで、少し離れたところにいる友達の声も聞こえにくかった。部屋から出た時は、自分の声って、こんなにも響いていたんだと気づくことができた。」

「EMセンターには、とても驚きました。このような施設はテレビでしか見たことがなかったので、間近に見れて本当に感動しました。」

「時間が短かった。もう少し、ゆっくりと各施設を見学したかった。」

「難しい言葉がたくさんでてきたので、分かりにくかった。」



## SSH報告

### 1年 ラボツアー2日目 研修③ 京都大学 桂キャンパス

## 化学ゼミと生物ゼミがポスターセッション発表

### 和歌山県立桐蔭高等学校SSH研究成果発表会にて

11月2日（金）、和歌山県立桐蔭高等学校が、スーパーサイエンスハイスクール活動5年目を迎えるにあたり、研究成果発表会が開催され、SSH指定を受けている県立高校などが参加しました。本校からは環境科学科2年生の生徒9名が出席し、日頃の授業で取り組んできた研究テーマ（「和歌山県田辺湾におけるタマキビ類（巻貝類）のすみ分けに関する研究」「香料（エステル）の研究」「アスコルビン酸の定量実験の研究」）についてポスターセッション発表を行いました。

#### 参加生徒の感想より

タマキビ班 「初めての発表ではなかったので前より緊張しませんでした。研究内容についていろいろと指摘していただき、勉強になりました。“この研究おもしろいね”と言われた時はとてもうれしかったです。これからさらに内容の深い研究にしていきたいと思います。」

香料班 「桐蔭高校では、中学生に説明することが多かったので、あまり緊張することなく楽しんでポスターセッションすることができました。」

アスコルビン酸班 「生徒の人たちだけでなく、先生方も質問などに来てくださって、戸惑うこともありましたが、多くのことを学ぶことができてよい経験になりました。」

